THE ROTARY CLUB OF KARIYA

Weekly

創立　1954年３月８日
承認　1954年３月30日

2015～2016年度　国際ロータリー　K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world　世界へのプレゼントになろう

例会日時　毎週月曜日
12：30～13：30
例会場　刈谷市新栄町３の26
刈谷商工会議所内
事務所　TEL〈0566〉22-2111
FAX〈0566〉25-2111
メール　kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ　http://www.kariya-rotary.com
会長　加藤真治
幹事　兵藤文男
会報委員長　山下雅則

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2914回例会プログラム

［当年度＝24回目；当月＝１週目］

2016年（平成28年）２月１日(月)

１．例　会……〈司会：プログラム委員会〉

12：28　１．チャイム
12：30　２．点　鐘……〈会　長〉
３．開会宣言
４．国歌斉唱
５．ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
６．講師・ゲスト並びにビジター紹介
７．食　事

12：45　８．会長挨拶並びに会長報告
９．お祝い
（誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝）
10．幹事報告
11．出席報告
12．委員会報告
13．ニコニコボックス報告
14．次週並びに次々週のプログラムの予告
（２／８）……クラブフォーラム
（IM 実行委員会）
（２／15）……
卓話　「車いすドクターズの活躍」
講師　元 TG ウエルフェア
高山幸四郎 様
（紹介者　嶋津　孝久 会員）

13：00　15．本日のプログラム
卓話　「FC 刈谷の現状」
講師　FC 刈谷　会　長　犬飼（いぬかい）　博樹（ひろき）　様
事務局長　松永（まつなが）　諭（さとし）　様
監　督　飯塚（いいつか）　亮（りょう）　様
（紹介者　下谷　敏朗 会員）

16．謝　辞
17．点　鐘……〈会　長〉
18．閉会宣言

13：30　19．散　会

ビジター

西尾 RC　榊原茂太郎（さかきばらしげたろう）　様
西尾 RC　手島（てしま）　健次（けんじ）　様

出席

会員総数　96名　　出席免除　23名
出席義務者＋免除者の内例会出席者　89名
欠　席　４名　　出席率　95.51%
前々回（１／18）の修正出席率 100%

会長報告

１）１月30日刈谷ライオンズクラブチャーター・ナイト50周年記念式典ならびに懇親会に出席して参りました。

２）ロータリー財団より、マルチプルポールハリスフェローのバッヂが届きました。橋本恭典会員３回目、池田憲司会員２回目、内藤耕造会員１回目、私加藤が２回目です。

３）米山功労者の感謝状がロータリー米山記念奨学会より届きました。嶋津孝久会員12回目、市川裕大会員４回目、私加藤が17回目です。

幹　事　報　告

1）本日理事会を開催します。関係の会員の参集をお願いします。

会長あいさつ

メソポタミア文明とノアの洪水伝説

加藤　真治

農業革命以降、大河のほとりでは農耕民が生活し、大河周辺の草原地帯では牧畜民が生活していました。今から5700年前頃、気候の寒冷化が始まります。この寒冷化により北緯35度以北のトルコのアナトリア高原は湿潤化して積雪量が増加しました。その一方北緯35度以南のチグリス・ユーフラテス川の下流域のメソポタミアの気候は乾燥化しました。水を求めて、草原地帯に住む牧畜民が大河のほとりにやってきました。

農耕民は村落共同体への帰属意識が強く、血縁的社会の中で個人の所有に対する権利意識や契約の概念が希薄であった。また、英雄などのリーダーをかならずしも必要とせず、平等主義的指向の強い母権制的な血縁社会を形成していました。これに対し、たえず移動を繰り返す牧畜民は、自らの家畜と他人の家畜とを明確に区別する必要がありました。異なる集落、異なる民族の間を移動する牧畜民にとっては、一族を統率するリーダーが必要でしたし、不測の事態に備えて一族を守る武器も必要でした。牧畜民が農耕民を征服することから都市文明が、誕生したと思われます。

5500年前頃からシュメール人が都市国家の建設を始め、4900年前頃にはウルやラガシュといった多くの都市国家が建設されました。1853年に発見された「ギルガメシュ叙事詩」は4600年前の都市国家ウルクに実在した王を物語る叙事詩ですが、この叙事詩の中に洪水伝説が書かれています。

その洪水伝説は、「エア神の説明により、ウトナピシュティムは船を作り、自分と家族、船大工、全ての動物を船に乗せる。６日間の嵐の後に人間は粘土になる。ウトナピシュティムの船はニシル山の頂上に到着し、７日後ウトナピシュティムは、鳩・ツバメ・カラスを放つ。ウトナピシュティムは船を開けて乗船者たちを解き放ち、神に生け贄を捧げる。…」というものです。この物語が、後に聖書の「ノアの洪水伝説」になったという説もあります。

メソポタミア地域に4900年前頃、大洪水が起こったことは、キシュ遺跡やウルク遺跡などの発掘調査からわかっています。

お　　祝　　い

２月の会員の誕生日…盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、加藤大志朗、石川友美、佐野彰彦会員。

配偶者の誕生日…平野恵子（和一）、野村弘子（重彦）、加藤好子（恒治）、杉浦光子（芳一）、石川ふみ子（覚雄）様。

２月度結婚記念日…廣根実、橘典子、馬場理好、加藤正則、市川裕大、加藤貴紀、中川耕児会員。

２月度入会記念日…黒田義之、羽田育哉、神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久、牧野健一会員。

古希のお祝い

橋本　恭典 会員

卓　　話

「FC 刈谷の現状」

FC 刈谷　会長　犬飼　博樹 様

刈谷ロータリークラブ会員の皆さま、日頃は FC 刈谷の活動に温かいご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。また、本日は、貴重な時間を頂きまして活動内容を説明する時間を頂き誠にありがとうございます。

FC 刈谷は、地域の活性化と未来を担う子供たちの夢を育てるため強いチームづくり（JFL への昇格）を目指して活動をすすめています。

昨年は、選手強化とトレーニング環境の改善等により、

東海社会人サッカーリーグで優勝することができましたが、JFL 昇格を決める最終決戦では力及ばず敗退し、昇格の目標を達成することができませんでしたが、この体験を生かして2016年シーズンにチャレンジしていきます。そのためには、地域のご支援が必要であり、今までに増したご支援を頂くようお願い致します。

本日は、今年新たに就任した飯塚新監督他、FC 刈谷のメンバーが総動員で皆さまへ意欲を伝えようとこの会場に来ています。

どうか、主旨をご理解頂き、今後の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

FC 刈谷　事務局長　松永　　諭 様

◇サッカーの大切さと刈谷の伝統

サッカーは世界最大のスポーツです。日本にサッカーが伝わってきたのが1873年（明治 6 年）。以来、全国にサッカーが広まりましたが、いち早く取り入れたのが刈谷です。国民体育大会（高校の部）が始まったのが昭和21年です。そして、静岡より早く優勝したのが刈谷です。まさに全国に刈谷の強さを発信した時でありました。市民の盛り上がりの最高潮でした。この、喜びをもう一度再現したい、というのが願いです。

また、幼児へのサッカーの普及活動を通じて、子どもたちの夢づくりにも力を入れています。

◇ FC 刈谷の課題

①チームの強化、②経営の改善、③地域との一体化、この三つが FC 刈谷の課題です。

この中で、最も重要な課題は②の経営の改善であります。

FC 刈谷が今後、一つ上、二つ上を目指すためには、更なる体質強化が必要になります。

昨年末に JFL 昇格の全国大会に出場しましたが、他地域のチームは、私たちが想像した以上に費用を投入して優秀な選手を確保していました。FC 刈谷も善戦はしましたが、資金力の差が出たことは明らかでありました。

当面の壁を打破することと、JFL へ昇格した場合の資金を確保することは絶対的な条件であります。JFL に加入した場合には、年間参加料、遠征費、選手スカウト、チーム強化費にはそれぞれ 1 千万円の経費が必要になります。この費用は必須条件であり、何としてでも確保しなければなりません。チームとしては、資金に頼るだけではなく、限られた資金で最大限の成績をあげる、という意欲で取り組んでいますが、上を目指すにはやはり、活動資金が必要となります。

◇具体的なご支援のお願い

勝手なお願いではありますが、具体的なご支援の内容を説明させて頂きます。

①最も支えになるのは大口スポンサーです。

ユニホームの胸にロゴを明示します。チームのメインスポンサーとさせて頂きます。

②賛助

個人は 1 口5,000円、法人は 1 口 5 万円（口数は制限無し）

③スポンサー

○ユニホーム、練習着、フィールド看板、マッチデープログラム　他

④その他

○自動販売機の設置、食事、生活物資のご提供等も歓迎します。

◇最後に

本日は、はなはだ勝手なお願いをさせて頂きました。

スポーツ（サッカー）は、町や人をつくるための重要な要素である、という信念で活動をすすめています。

刈谷は強いスポーツがたくさんありますが、FC 刈谷は、企業スポーツ以外で全国レベルでの活動を行っているクラブです。まだまだ、十分な市民クラブにはなっていませんが、この先、絶対に市民に受け入れられるチームをつくっていきます。

FC 刈谷は、刈谷市の発展と誇りあるまちづくりに貢献していきます。

今後とも、温かい、熱いご支援をお願い致します。

FC 刈谷　監督　飯塚　　亮 様